

松江市立鹿島歴史民俗資料館だより

No. 40

2024年8月発行

■ 10月5日から開催の2024年度特別展のお知らせ

“海と湖に生きた人々

—登録有形民俗文化財「島根半島沿岸及び宍道湖・中海の漁撈用具」登録記念—

松江市は北に日本海、市域内に宍道湖と中海という塩分濃度の異なる二つの汽水域を持つという全国的にも珍しい土地柄です。性格の違う三つの水域では生態系も異なり、それを対象とした漁業の形態もそれぞれに特徴を持っています。

今年3月に国の登録有形民俗文化財となった、明治から昭和50年代まで日本海・宍道湖・中海で用いられた漁撈用具を通して、三つの水域で漁業を営んだ人々の暮らしを概観します。

会期は令和6年10月5日～令和7年1月13日まで。



島根半島沿岸(島根町)の漁撈用具



宍道湖・中海の漁撈用具



宍道湖 四手網
(写真 松江歴史館蔵)